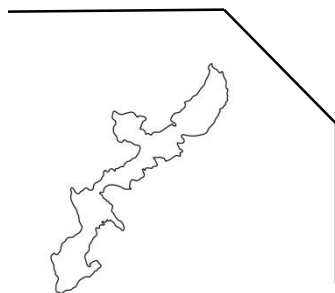




国立病院理学療法士協議会

九州部会会報誌 vol.24



九州

## 巻頭言

### 病院機能評価受審とメダリストに思う

国立病院理学療法士協議会

九州部会会長 坂本浩樹

3月15日と16日に病院機能評価を受審しました。1年間コツコツと準備しました。担当を振り分け、スタッフ全員で取り組みました。マニュアルが新しくなり、新たなプログラムを作成し、リスクも考え、掲示物も見直し、整理整頓が進み、リハ室もそれなりに綺麗になりました、再スタートできた気分です。講評時のサーベイヤーのお言葉は「365日が望ましい」でした。予想外でした。現在も土日は毎週交代で出勤し、ゴールデンウィークや正月も連続3日の休みが生じないように勤務しています。3月初旬のスタッフ会議で日曜勤務は止めようと思ったばかりでした。考え直さなければなりません。一つ一つ取り組みたいと思います。講評の別の見方をするなら「他は完璧だったんだな」と解釈しています。

病院機能評価ではケアプロセスが重視されます。一人の患者さんの入院から退院までをプロセスに沿って、関わりのあるスタッフが質問に答えなければなりません。自分が行ってきたこと、他のスタッフが行ってきたことを見直し、確認する作業が必要になります。病院機能評価受審の当事者になることで多くの「気づき」が生まれます。評価の視点や要素をもとに考えなければなりません。このイベントは、参加したスタッフにとって主体性と実践力を養う教育の場になっていると感じました。5年に1回です。これからの自分たちのキャリアに役立つ有意義な出来事であったと確信しています。

平昌オリンピックのメダリストを見て思います、「自分も頑張らないと」と。彼らは「感謝の気持ち」を多く述べます。家族やスタッフ・応援してくれた方々……。モチベーションを保つためには一人では難しく、多くの方の支えが必要なのでしょう。メダリストが何かしらの挫折を乗り越え、そして手に入れた結果であることは容易に想像できます。失敗や挫折と向きあい、自分自身を見つめ直し、コツコツと取り組んできた結果なのでしょう。なかなか出来ることはありません。いつも感謝の気持ちを忘れず、前向きに取り組む過程が大切と感じました。

リハビリテーション業務は一人で出来るものではありません。患者さんは勿論、医師・看護師・同僚のスタッフ等多くの方々の協力が必要です。一人で自分の事だけをしていれば簡単かもしれませんが。業務に追われる日々が続くと慌しく過ごしてしまいがちです。それでは思考回路がさび付いてしまいます。考えること・見直す事・手順を変えること・伝えること、自分らがやるべき事はたくさんあるのではないのでしょうか。立場や見方が変わると同じ景色の中から、今まで気付かなかったモノが見えてきます。多くの景色がみえるようになりたいと思っています。何かしら自分たちの行いを振り返り、前向きに変えたい・変わりたいと思っている今日この頃です。今年度もよろしくお願いします。

# 活動報告

## リハビリテーション業務評価表のご紹介

NHO 九州グループ 理学療法専門職 羽島厚裕

このたび国立病院機構九州グループ、国立病院理学療法士協議会九州部会、国立病院作業療法士協議会九州部会、国立病院言語聴覚士協議会九州部会、九州国立病院理学療法・作業療法・言語聴覚士長会では、合同でリハビリテーション部門の業務に関する評価表を作成しました。

これは ①医療法に適合するリハビリテーション診療体制を構築し、一定以上の質を確保すること、②適正な診療報酬請求を実施し、請求漏れを是正すること、③診療業務の施設間格差を是正することを目的とし、厚生局や県による適時調査、個別指導に適合する職場、病院機能評価に適合する職場づくりを目指すものです。

評価表は、医科診療報酬点数表等に定められた基準ならびに、これまでに全国の国立病院機構施設が受審した適時調査や、個別指導の指導内容をもとに作成しました。「施設認可・管理・運営」に関する評価と、「診療録」に関する評価から成っています。「施設認可・管理・運営」に関する評価は身障、精神科共通で、施設基準の適合状況や、管理・運営体制等について 11 項目をチェックします。「診療録」に関する評価は身障用（40 チェック項目）、精神科作業療法用（16 チェック項目）、精神科デイケア用（19 チェック項目）の 3 種類があり、診療状況に応じた評価表を用い、10 名分の診療録の内容を審査します。

これらの評価結果よりリハビリテーション診療業務の課題を明確にし、業務改善をはかっていきたいと考えています。リハビリテーションの業務改善にはリハビリテーション部門のみでなく、医師、看護師等他職種の理解、協力が必要な場合も少なくありません。病院をあげての取り組みが必要となります。今回、4 月 26 日付で九州グループ医療担当参事より、九州グループ内各病院長に評価表を紹介する文書を発信していただきました。施設の理解、協力を得つつ業務の改善を図っていただきたいと思います。

### リハビリテーション業務評価 【施設認可・管理・運営】

身障・精神科共通

施設名			
大項目	小項目	評価	注 釈
施設認可	施設基準に相当する面積は十分に満たしている	1 0 N	
	施設基準に応じた専従配置の必要スタッフ数を満たしている	1 0 N	
	施設基準に必要な物品は十分に満たしている	1 0 N	
	物品の管理は適切に行われている（危険物等の施錠管理など）	1 0 N	
個人情報管理	個人情報漏洩の予防に努めている	1 0 N	ダブルチェックの実施など
予定表・実施表 リハビリテーション	週間の実施予定・実施表を担当者ごとに作成し、すぐに提示できるような体制となっている	1 0 N	診療点数早見表等に明確な記載はない。適時調査や個別指導など、監査時の指摘事項の情報より項目を掲載
	外来・入院患者がわかるように明記されている	1 0 N	
	1 日当たりの担当者ごとの実績数が明確になるように作成、管理されている	1 0 N	
マニュアル	医療安全マニュアルは常備している	1 0 N	マニュアルの内容・場所は周知できている
	感染対策マニュアルは常備している	1 0 N	
	緊急時マニュアルは常備している	1 0 N	

〔評価基準〕 適切もしくは概ね適切に実施されている：1点 非実施もしくは実施されているが不適切：0点 非該当：N

## 研修会報告

平成 29 年度 重度心身障害児者 研修会を終えて

NHO 南九州病院 理学療法士 仮屋成美

ライフステージに応じた重度心身障害児者への関わりをテーマに講義を担当しました。このテーマでの依頼を受け、どのような内容にするか悩みました。南九州病院に勤務してから、0 歳から 70 歳以上の心身に重度な問題のある方々に理学療法を行っています。その中で、自分が日々思うことや困っていること、学んだことをライフステージや治療の実際の視点からまとめてみようと考えました。まとめる中で、最も伝えたいことは、重度の障害のある方の「自律」をセラピストとしてどう意識していくかでした。以前、京都の小児神経科医の家森百合子先生の講演で、重度の障害のある方の「自律」の条件について教えて頂いたことを引用しました。その条件とは、「うれしい時に笑顔がだせること」「誰の世話にでもなれること」「親が子離れできること」の 3 つです。

重度心身障害児者のリハビリテーションの経験のない方にも伝わるよう、重度の障害のある方の「自律」をどうセラピストとして支援していくか、症例の紹介とあわせて話をしました。

講義の後、症例を通して提示した姿勢保持具や、日々の臨床で悩んでいらっしゃることなど、熱心な質問をたくさんいただきました。十分な答えはできなかったですが、自分が経験したことなどを伝えられたのではと思います。また、具体的に意見をくださり、私にとっても有意義でした。

障害の状態は様々で、変形の進行に頭をかかえ、日々悩みながら臨床に取り組んでいます。自分の力だけでは解決できない、チームでの取り組みとその中でセラピストとしてどう関わっていくか、研鑽を積み上げていくこと、研修会の必要性を強く感じました。企画、運営された方々、聞いてくださった方々に感謝致します。





## 会員投稿

### ADL 維持向上等体制加算認可取得に至るまで

NHO 別府医療センター リハビリテーション科 広田 美江

2014 年度に、ADL 維持向上等体制加算が新設されました。長年、九州医療センターも現況の取得単位数では増員が認められず、徐々に増えていく処方の対応に苦慮していました。まずはこの報酬を理解するために来福していた日本理学療法士協会の半田会長、小川副会長にお会いしその意義を確認しました。この法律は、初めてリハ医学会や各療法士協会主導で獲得したものであり、今までと異なる病棟マネジメントを目的とした大変意義のあるお話でした。2016 年 4 月から消化器科センター（肝・胆・膵）の専従理学療法士となり、まずは認可取得を目指して肝胆膵外科医師、消化器内科医師、看護師長、看護師、地域医療連携看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、薬剤師、管理栄養士をメンバーに、ADL 維持向上等体制加算取得促進チームを結成しました。毎月定例会議を開催して先行病院なども見学し、問題に対する検討を加えましたが、月の入院患者が 90～140 名と多くバーセルインデックスを評価するにも一苦労です。そこで、看護部や情報管理室と協力し、DPC の ADL 評価を連動させ、評価システムの構築を行いました。また病棟の業務の流れや患者状況を把握するため毎日行われるカンファレンスに参加し、他職種との連携を図りました。試行錯誤する中で、明らかに疾患別リハビリテーションとの相違が生まれました。医師からのリハビリ処方箋オーダーに加え毎日の看護師からの情報提供から初動を行う点が増え、ADL 低下予測患者の早期発見が可能となり医師や看護師の仕事量の軽減も図れました。運動指導のためのウォーキングMAP やパンフレットの作成、サルコペニア患者に対してのベルト電極式骨格筋電気刺激法、3 軸加速度センサー内蔵活動量計、フィンガートレーナー等を活用が効を奏し、患者の活動量が増加しました。その甲斐があってようやく褥瘡率および ADL 低下率のアウトカムを達成し、2017 年 4 月 1 日国立病院機構では初めての認可取得に至りました。今回、専従理学療法士を配置した結果として、従来の限られた病気や治療に対するリハビリテーションである疾患別リハビリテーションから、新しい試みであるチーム医療を基本とした予防行為のリハビリテーションである ADL 向上リハビリテーションが可能となりました。マネジメント業務を主体とする働き方は管理者業務に向いていますが、収支がやや低いことやアウトカム達成維持の困難さなどの問題点も多くあり、まだまだ認可取得に至っている急性期病院は全国でも二桁というのが現状です。しかし、ICU などを持ち ADL の改善に一定の担保が図れる病院や、疾患別だけでは対応困難な診療科の治療には適しており、チーム医療の推進、働きやすさといった観点で、今後多くの病院で取り組まれることを切に願って止まないところです。

第 71 回国立病院総合医学会 ベストロ演賞

消化器科センター（肝・胆・膵）における ADL 維持向上等体制加算認可取得の取り組み

## 新採用者紹介

### 平成 29 年度 新採用者紹介（新卒者、既卒者）

お忙しい中、多くの新採用者の方々に自己紹介をしていただきました。

新しい仲間のことを少しでも知る機会になればと思います。

①氏名 ②出身地 ③趣味・特技 ④抱負 ⑤その他一言

#### 小倉医療センター

- ① 古賀 大地（こが だいち）
- ② 福岡県久留米市
- ③ ラーメン屋巡り
- ④ 患者様に寄り添う理学療法士になります。



- ① 米倉 大祐（よねくら だいすけ）
- ② 熊本県
- ③ スポーツ観戦
- ④ リハビリの時間を楽しく提供できるようにがんばります。



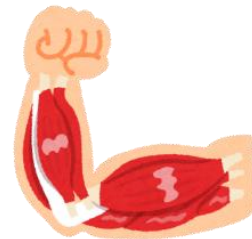
#### 九州医療センター

- ① 松本 涼太（まつもと りょうた）
- ② 佐賀県
- ③ 野球
- ④ 国立病院機構で様々な疾患について学び、最適なりハビリテーションを提供できるセラピストを目指します。



## 福岡東医療センター

- ① 時任 宏樹（ときとう ひろき）
- ② 福岡県
- ③ 筋力トレーニング
- ④ 憧れだった国立病院機構の理学療法士として一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



- ① 土屋 実優斗（つちや みゆと）
- ② 福岡県糸島市
- ③ バドミントン、カメラ
- ④ 少しずつでも成長していけるよう頑張ります。
- ⑤ ミルクティーが大好きです。



## 長崎医療センター

- ① 古田 新太郎（ふるた しんたろう）
- ② 長崎県佐世保市
- ③ コーヒー豆を挽く
- ④ 事故を起こさず安全にリハビリを実施する。あらゆる疾患に対応できるよう基礎知識をつける。他科スタッフとうまく連携をとれるようコミュニケーションをとる。



- ① 一原 卓矢（いちはら たくや）
- ② 熊本県
- ③ 運動、旅行、睡眠
- ④ リスク管理を行い、まずは事故のないリハビリテーションの提供。



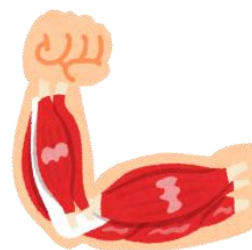
## 長崎病院

- ① 石永 和花 (いしなが わか)
- ② 佐賀県嬉野市
- ③ どちらも初心者ですが、スノーボードとカメラが好きです。
- ④ 患者様やそのご家族のことを第一に考えながら患者様と向き合うことを心がけています！1年目で知識不足なことや不安なことも多々ありますが、その都度先輩方に支えられています。患者様に笑顔になっていただけるようなリハビリを目指します！



## 長崎川棚医療センター

- ① 松下 佳矢 (まつした けいや)
  - ② 長崎県
  - ③ 筋トレ、ランニング、旅行
  - ④ 心リハ指導士資格所得の為の活動に取り組む。
  - ⑤ 理学療法士として働くのも早1年となりました。臨床現場では慣れないことばかりで上司・先輩方にご迷惑ばかりおかけしてますが、初心を忘れず精進していきたいと思っています。
- 
- ① 宮島 遼太 (みやじま りょうた)
  - ② 福岡県 北九州市 若松区
  - ③ ワード・エクセルやプログラミングが得意です。
  - ④ PT2年目となる今年は名実共に新人を卒業し、一人前の戦力として認められる人材になることを目標に頑張っています。
  - ⑤ ダイエットも頑張ります。





## 佐賀病院

- ① 山本 晴菜 (やまもと はるな)
- ② 熊本県
- ③ 読書、ドライブ
- ④ 先輩方の助言をもとに、自分自身のスキルアップを図ります。
- ⑤ 働き始めてさまざまな患者様に関わらせて頂き、自分自身の知識不足を日々痛感しています。まだ日々の業務に精一杯ですが、患者様一人一人にしっかりと向き合い、支えて下さった先輩方に感謝しながら今後も頑張ります。



## 熊本再春荘病院

- ① 米田 奏子 (よねだ かなこ)
- ② 福岡県 糸島市
- ③ 読書、温泉
- ④ 新卒1年目です。患者様に丁寧なリハビリを提供できる理学療法士になれるよう、日々臨床や勉強に励んでいきたいと思います。
- ⑤ 熊本再春荘病院に配属になりました。素敵な先輩に恵まれ、アドバイスを頂きながら日々仕事に励んでおります。体力が無く、先輩方と出場した昨年のリレーマラソンでへとへとになってしまったので今年はしっかり運動して体力をつけるのが目標です。よろしくお願いします。



## 西別府病院

- ① 林 威寛 (はやし たけひろ)
  - ② 福岡県
  - ③ 温泉めぐり
  - ④ いろいろな疾患のリハビリを経験してみたいです。
- 
- ① 下川床 眞 (しもかわとこ まこと)
  - ② 鹿児島県
  - ③ 記載なし
  - ④ 西別府病院に配属になりました。様々な経験を通して多くの事を学んでいきます。



## 大分医療センター

- ① 甲斐 均 (かい ひとし)
- ② 熊本県
- ③ 読書、ギター、歌うこと
- ④ 新たな経験を積んで、理学療法士としての視野を広げたいです。
- ⑤ 人生の第2章の始まり。色々な出会いを楽しみたいです。宜しくお願い致します。



- ① 嶋山 裕文 (しぎやま ひろふみ)
- ② 福岡県
- ③ 旅行、買い物、DIY
- ④ 先輩方の力を借りながらも解らないことは解るまで追求していきます。
- ⑤ 明るく元気に頑張ります！！



- ① 今村 健二 (いまむら けんじ)
- ② 福岡県
- ③ 旅行、温泉、パソコン
- ④ 平成29年8月1日より大分医療センターに勤務しております。病院の基本理念である「愛の心・手」で患者さんに寄り添い、安全・安心・最良のリハビリテーションを提供できるように努めていきたいです。
- ⑤ 職場の皆様に恵まれ、充実して毎日を過ごしております。宜しくお願い致します。



## 南九州病院

- ① 手島 那彩美 (てしま なつみ)
- ② 佐賀県
- ③ ダイエット
- ④ 新人1年目ももうすぐ終わってしまうので、さらに責任を持って取り組みます！
- ⑤ 初めての土地で最初は不安でしたが鹿児島は美味しい物も多くて人も温かくて良いところでした！





### 編集後記

2月に当院でも病院機能評価を受審しリハビリ業務の見直しや改善を行いました。以前に比べ更に体制が整えられたと感じます。やっと一息ついたところでしたが、2018年度の診療報酬改定により早期離床・リハ加算が新設され、現在、認可取得を目指し、試行錯誤の毎日です。医師・看護師との協力はもちろんですが、同僚スタッフの心強いバックアップを実感しています。

今回、会報誌第24号を発行するにあたり、会員の皆様にご執筆いただき完成する事ができました。ご多忙中にもかかわらず早く原稿執筆を引き受けていただきまして本当にありがとうございました。今後とも、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

広報局 国立病院機構 鹿児島医療センター リハビリテーション部 黒岩剛成

E-mail : kuroiwa27@kagomc2.hosp.go.jp

